

熊本県男女共同参画推進員 委嘱状交付式&全体研修会

県内各地域で細やかな啓発活動に取り組んでいただく「熊本県男女共同参画推進員」制度。
平成27~28年度は、41名の方にご協力いただくことになり、7月29日(水)に委嘱状交付式と
全体研修を行いました。

委嘱状交付式

推進員氏名(順不同、敬称略)

中村 英子	佃 安子
中村 はるよ	稲田 さゆり
渡邊 妙子	平野 いずみ
糸永 千代美	宮部 由紀子
皆川 由貴子	緒方 映子
柳原 志保	芹川 恵
松本 久代	松本 憲子
工藤 清子	川内 広子
上村 りえ子	堀 泉
金田 隆	庭田 孝男
大無田 和男	知里 香穂里
鳩野 美陽子	安井 寛子
高木 志保	高橋 悦子
篤岡 小百合	池田 真理子
飯星 美恵子	澤 真由美
井山 さおり	井上 章久
藤井 ゆみ	浦口 佐美代
魚住 光二	
今村 朱美	
小谷 つゆみ	
谷口 紀夫	
武田 昌代	
永野 久美	
川本 初幸	



活動報告

再任の推進員・堀泉さん(大津町)による、これまでの活動報告が行われました。堀さんはNPO法人「こそだてサポーターあぼり」の代表を務めており、その活動の中でも男女共同参画の取組みを行っています。

「あぼり」の主な活動は、親子が気軽に集える場所で、好きな時に利用できる「つどいの広場」の運営。食育の一環として料理教室を行うなど、日常の中でできることを発信しているそうです。「いろんな人とお喋りをして、価値観の違いを共有してもらいたい。子育てはひとりではない」という雰囲気づくりも心掛けています。また、何気ないおしゃべりの中で、将来はどうなっただけか?といった話もしています。その際には、女の子だから、男の子だからと性別で分けるのではなく、ひとりの人間としてどう育ててほしいかを聞くようにしています」と堀さん。



講演

「地域づくりにおける 男女共同参画」

講師/澤田 道夫さん

(熊本県立大学総合管理学部准教授)

「日本の人口は半分以上が女性。男性よりも多いのに、女性の意見や視点をとり入れる場が十分でない。これが最大の問題です」と澤田先生。東日本大震災をきっかけに見えた問題点など、さまざまな事例を紹介しつつ、地域づくり、さらにはビジネスに女性の参加が重要であると述べられました。

「集団での登山に例えてみましょう。皆が同じルートを守って登ると、全員が同じように遭難する可能性があります。めぞす頂上は同じでも、いろいろなルートを選択するとリスクも分散されると思いませんか?」

その構成員が一樣な集団は、何人いても1人しかいないのと同じこと。男女共同参画は多様性につながり、意思決定の質を高めるのです」。

